



黄色い帽子を新1年生に

3月13日

明るい社会づくり運動静岡県裾野地区協議会から、新入学児童のための黄色い帽子550個が贈呈されました。会長の林さんは「新1年生のシンボルになるとよいです」と述べました。黄色い帽子の児童を見かけたら、安全に登下校できるような見守りをお願いします。



災害に備えバス輸送の協定締結

3月15日

市と株式会社バス企画は、「災害時等におけるバスによる人員等の輸送に関する協定」を締結しました。同社は12台のバスを所有しています。災害発生時には、避難が必要な方やボランティア、資機材などの輸送の支援が得られます。



20歳になったらまた会いましょう

3月16日

裾野高校美術部の皆さんがデザインしたラベルが貼られている地酒すそのを熟成させるため、取材を受けた記事の載る新聞紙で瓶を巻く作業を行いました。20歳になるまで冷暗所で保管されるお酒は、彼らの成人式で披露されます。



「食」を伝える幸せマルシェ

3月17日

裾野市からおいしいもの「食」を伝えるイベント「おいしいのんマルシェ」が市民文化センターで行われました。新商品のヒントが生まれればという目的で、今回登場の出展者同士によるコラボ商品や定番商品などを多くの来場者が楽しく味わいました。



みんなが誇る豊かな裾野に

3月17日

未来会議シンポジウムが、生涯学習センターで開催されました。市長による市政報告や樋渡前武雄市長の基調講演が行われました。コンパクト・インパクトの重要性などに触れ、笑いをとりながら来場者を終始引き付ける内容となりました。



深良地区の拠点をリニューアル

3月24日

深良地区コミュニティセンターのリニューアルオープン式典が、春の日差しの中行われました。「リニューアルに当たり地域の方々から意見を聞きながら市民協働でつくりました」と市長。深良地区の地域や防災拠点として地域の方々から親しまれるセンターを目指します。



Photograph 3月

今月の一枚 This month's best shot

撮影／生涯学習センター



ヒップホップのリズムに合わせ

生涯学習フェスティバル「ゆうあいプラザ祭」が3月4日(日)に生涯学習センターで行われました。センターで開かれている講座の受講生や利用団体が日頃の活動を披露しました。学習ホールでは、フラダンスやヒップホップダンスなどが次々と登場し、来場者を楽しませました。



今年度活躍した児童生徒等を賞揚 3月6日

市児童生徒賞揚規定に基づいて、今年度文化・科学・学習・スポーツなどで優秀な成績を取めた13人の児童生徒と1チームが表彰されました。受賞者一人一人が「現在の取り組みを継続したい」「一段上を目指したい」など力強い抱負を述べました。



かるたでふるさと再発見 3月13日

西地区青少年育成連絡会が、地域の魅力を子どもたちに伝え、再発見してもらうために西地区の歴史・自然などを詠んだ「すその西地区ふるさとかるた」を作成しました。学校などで活用してもらい、郷土愛や地域への関心を高めてもらうため、一部を市へ寄贈しました。